

議会だより

いしのまき

議場を開放します!
ぜひ、お越しください

No.62

令和元年
11月13日発行

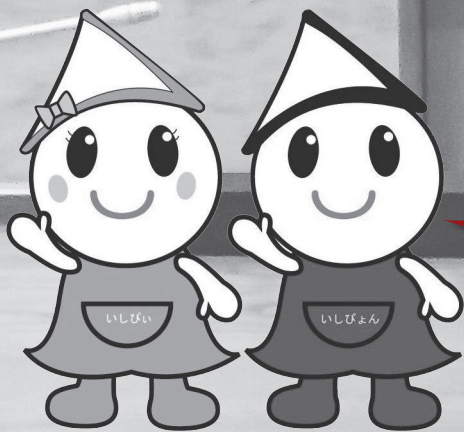
議会報告会2019

行ってみっちや議会
(Welcome to 議会)

11月24日(日曜日)
13:00~

議場コンサートも
開催されるよ!

出演：石巻好文館高等学校
(マンドリン部)



問合せ先

石巻市議会事務局

〒986-8501

宮城県石巻市穀町14番1号

TEL 0225-95-5080

令和元年 第3回定例会号

contents 主な内容

第3回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
24人が一般質問で市政を問う	8

第3回定例会

条例や補正予算など58件を 可決・同意

令和元年第3回定例会を、9月5日から25日までの21日間の日程で開催し、市長提出議案58件を審議した結果、決算は認定され、議案などはすべて原案のとおり可決しました。

第3回定例会に提出された議案と審議結果

決 算 (認定)

平成30年度

- 石巻市一般会計及び各種特別会計決算認定について
- 石巻市病院事業会計決算認定について

予 算 (原案可決)

令和元年度

- 石巻市一般会計補正予算(第3号)
- 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 石巻市病院事業会計補正予算(第2号)

条 例 (原案可決)

- 石巻市複合文化施設条例
- 石巻市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例
- 石巻市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例
- 石巻市会計年度任用職員制度移行に伴う関係条例の整備に関する条例
- 石巻市支所設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市行政委員設置条例の一部を改正する条例
- 石巻市行政財産の用途又は目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市立学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例
- 石巻市公民館条例の一部を改正する条例
- 石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び石巻市認可保育所等の保育料に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市印鑑条例の一部を改正する条例
- 石巻市水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例
- 石巻市下水道条例等の一部を改正する条例
- 石巻市営住宅条例の一部を改正する条例
- 石巻市消防団条例の一部を改正する条例

そ の 他 (原案可決)

- 財産の取得について
- 財産の処分について

- 工事請負の契約締結について
- (針岡地区排水施設整備工事)
- (稲井小学校校舎老朽化対策工事)
- (鹿妻小学校校舎老朽化対策工事)
- (河南西中学校水泳プール建設工事)
- (北上中学校校舎老朽化対策工事)
- (新明治橋橋梁災害復旧(その2)工事)
- (釣石橋橋梁災害復旧(その3)工事)
- (尾の崎海岸線道路災害復旧(その2)工事)
- (本地橋橋梁災害復旧(その2)工事)
- (雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設災害復旧建設工事)
- (雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設災害復旧電気設備工事)
- (23年災明神漁港海岸保全施設災害復旧(その2)工事)
- (真野大橋橋梁災害復旧工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (仮称)ささえあいセンター建設工事
- (大原川さげ人工ふ化場整備工事)
- (流留真野沢田線道路改良(その2)工事)
- (石巻市立北上小学校移転新築機械設備工事)
- (23年災長面漁港災害復旧(その2)工事)
- (23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その3)工事)
- (23年災名振漁港海岸保全施設災害復旧ほか整備工事)
- (23年災船越漁港災害復旧工事)
- (23年災小淵漁港災害復旧工事)
- (23年災小網倉漁港ほか災害復旧工事)
- (蛇田排水ポンプ場建設その2工事)
- 訴えの提起について
- 字の区域を新たに画することについて
- 市道路線の認定・廃止について
- 新たな過疎対策法の制定に関する意見書

第3回定例会で決まった中から主な事業を紹介します。

可決された条例から

◆石巻市立学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例

「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」が令和元年5月17日に公布され、幼児教育・保育の無償化が同年10月1日から施行されるほか、東日本大震災により被災された生徒の石巻市立高等学校の入学者選抜手数料および入学金について、引き続き被災した生徒の就学の機会を確保するため、来年度においても免除することができるよう、本条例の一部を改正するもの。

◆石巻市印鑑条例の一部を改正する条例

「住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令」が令和元年4月17日に公布され、同年11月5日から施行されることに伴う改正のほか、性的マイノリティの方の理解と人権に配慮するため、印鑑登録の登録事項および印鑑登録証明書への性別表記の廃止を行うため、本条例の一部を改正するもの。

改正内容としては、外国人住民の印鑑登録における通称の記載や、「旧氏」の併記、証明書における「男女の別」を削除する内容となっている。

可決された補正予算の主な中身は

今回の補正予算は、本年10月から開始される幼児教育・保育の無償化に伴う関係予算を計上したほか、(仮称)大川地区地域交流センター整備、サン・ファン・パウティスタパークの施設改修、十八成浜海水浴場の再開に向けた施設整備に要する経費などについて所要額を措置したもの。

また、人口減少と地域経済の活力低下対策を目的に、宮城県と共同で行う移住者支援事業として、東京圏からの移住者に対する支援金などについて、所要額を措置したもの。

◆総務費では

- ・東京圏から本市への移住者支援に要する経費
- ・(仮称)大川地区地域交流センター整備に要する経費

◆民生費では

- ・地域医療介護総合確保事業補助金
- ・幼児教育・保育の無償化に要する経費

◆衛生費では

- ・一般廃棄物最終処分場建設事業費(用地購入費)

◆農林水産業費では

- ・東日本大震災農業生産対策事業費補助金
- ・東日本大震災農業生産復旧緊急対策事業費補助金
- ・水産業従業員宿舎整備事業費補助金
- ・小淵漁港及び小網倉漁港のコンクリート塊などの撤去に要する経費

◆商工費では

- ・かほく上品の郷設備などの修繕に要する経費
- ・サン・ファン・パウティスタパークの施設改修に要する経費
- ・十八成浜海水浴場の再開に要する経費

◆土木費では

- ・道路照明灯(大橋三丁目1号線)の修繕に要する経費
- ・市道、歩道の修繕および危険ブロック塀撤去等に要する経費
- ・大須長尾線道路改良工事
- ・鮎川浜地区拠点エリア整備に要する経費

◆消防費では

- ・救急救助用チェーンソーおよび携帯型デジタル簡易無線機購入に要する経費

◆教育費では

- ・社会教育・体育施設適正配置および長寿命化計画策定業務委託料
- ・複合文化施設開館関連事業企画立案業務委託料

◆災害復旧費では

- ・十八成浜海水浴場の災害復旧に要する経費
- ・伝統産業会館災害復旧費
- ・おしかホエールランド災害復旧費

各常任委員会審査報告

9月6日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。
審査されたことの中からいくつかの質疑と答弁の要旨を紹介いたします。

総務企画委員会

石巻市フルタイム会計年度任用職員
の給与に関する条例、石巻市パート
タイム会計年度任用職員の報酬、
期末手当及び費用弁償に関する条
例並びに石巻市会計年度任用職員
制度移行に伴う関係条例の整備に
関する条例の3議案について

Q 通勤手当の支給について伺う。

A フルタイム会計年度任用職員
およびパートタイム会計年度任
用職員ともに、通勤手当を支給する予
定である。

Q 期末手当の支給について伺う。

A 常勤職員の取り扱いとの権衡
などを踏まえて定めることが適
当であるという国の見解があり、財政
的負担も考慮し初年度は常勤職員の2
分の1、2年目が常勤職員の4分の3、

3年目に常勤職員と同様という段階的
に支給割合を上げていく経過措置を設
ける。

Q 給料表の取り扱いについて伺
う。

A 会計年度任用職員となる職員
は、これまでも非常勤、嘱託、
臨時職員とさまざまな職性で採用して
いるが、今後もその職性に見合った給
料を設定しての支給となる。

Q 地域コミュニティ再生関係費につ
いて

Q 事業内容について伺う。

A 東日本大震災により甚大な被
害を受け、地域コミュニティ
の中心となる施設がなくなった河北の
大川地区における新たな広域拠点とし
て、スポーツ振興施設としても活用で
きる多目的ホールを備えた地域交流セ
ンターを整備するものである。

Q 旧門脇小学校震災遺構整備事業に
ついて

Q 工事費に対する設計費の割合
が他の設計業務と比較し高いこ
とについて伺う。

A 旧門脇小学校震災遺構の設計
は、校舎を解体しながら保存す
るこれまでに行なったことのない設計と
なっていること、また単体の設計業務
と異なり、本校舎と特別教室棟、体育

館をそれぞれの用途を変更しながら調
整して設計成果とするために、かなり
困難なものであること、さらにほかの
建物など設計にはない展示工事といっ
た部分に係る設計が大きく違うため
である。

環境教育委員会

石巻市複合文化施設条例について

Q 指定管理の予定について伺う。

A 次回の定例会に提案する予定
である。

Q 使用料の設定根拠および使用
料の減免対象について伺う。

A 使用料の設定根拠は、県内の
類似施設や近隣の施設を参考に
設定した。また、使用料の減免対象は、
市が使用する場合や市が主催する事業
または市内の小中学校が利用する場合
などは減免を想定しており、市の既存
施設における対象者を参考に設定する
予定である。なお、社会教育団体への
減免は、現在は考えていないが、今後
どのような対応が可能か検討する。

Q 令和元年度石巻市一般会計補正予
算(第3号)について

A 社会教育・体育施設適正配置
および長寿命化計画策定事業に
おいて、現在、具体的に残す施設や廃
止する施設が決まっているのか伺う。

A 現時点で決まっている施設は
ない。今後、現在の施設の利用
状況、劣化状況などを評価した上で、
残す施設と廃止する施設を区分けする
なお、対象施設は、各地区の公民館、
図書館・図書館分館、文化施設や総
合体育館、山下屋内運動場といった屋
内体育施設、総合運動公園、押切沼公
園といった屋外体育施設など、約60施
設である。

保健福祉委員会

令和元年度石巻市一般会計補正予
算(第3号)について

Q 幼児教育・保育無償化に伴う
進捗について伺う。

A 国から示されている無償化ま
での行程表に基づき現段階にお
いては目立った遅れは生じていない。

Q 一時預かりなどの無償化にお
ける利用方法について伺う。

A 認定された方が保育サービス
を利用した際の領収書をまとめ
申請することで支給される償還払いの
制度となっている。

産業建設委員会

令和元年度石巻市一般会計補正予
算(第3号)について

Q 上品の郷の近年の赤字決算に
ついて伺う。

A 三陸自動車道の延伸、類似施設の開業に伴う観光客の減少や施設の老朽化に伴う修繕により一部施設が休業したことが要因だと思われ、課題解決に向けた取り組み方針や実施計画を昨年度に作成している。

Q 上品の郷の修繕にかかる費用負担について伺う。

A 現在の協定では100万円未満の修繕については指定管理者が負担し、100万円以上の修繕は市と指定管理者での協議によるものとしているが、地域貢献が大きい施設ということもあり、100万円以上の修繕は市の負担とすることを検討していく。

決算審査

総務企画委員会

がんばる石巻応援寄附について

Q 寄附者に対する返礼品の選定方法について伺う。

A 年に3回、特産品の選定委員会を石巻観光協会が事務局となり開催し、市の石巻圏観光推進機構や

県の地方振興事務所、商工会議所、河北新報社などマスコミ、そのほか市への派遣職員らで、もらってうれしい魅

力のある特産品を選定して品数をそろえている。

インバンド向け無料無線通信環境整備事業について

Q 無料SIMカードの今年度の配布状況について伺う。

A 現状の配布実績は261枚であり、昨年度の実績100枚と比べ、約2・5倍に増加している。

Q 配布枚数をふやすためにどのような検討をしているのか伺う。

A ICT総合推進室で開設しているSNSなどの海外に向けた情報発信を精力的に取り組んでいきたい。

Q 現在のストック枚数と今年度の配布目標について伺う。

A 7月にダイヤモンド・プリンセス号が寄港した際に在庫がはけたため、9月10日に入港予定であったダイヤモンド・プリンセス号分として300枚を新しく調達し準備していたが台風15号の影響で中止となったため、今回調達した300枚をツール・ド・東北やリポーンアート・フェスティバルなどで本市を訪問される外国人観光客らに提供し、多くの方々に使用いただけるようPRなどを含めて周知していきたい。

東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業について

目標について伺う。

Q スポーツを通して市民の一体感の醸成、交流を目的に事業を進めている。子どもたちには、将来の夢が広がる多くの機会を与えること、またオリンピック種目である柔道、空手、新種目のスケートボードを多くの市民に広め、交流を進めることを目標にしている。

Q 総合運動公園から返還された聖火台にかわるものの設置について伺う。

A 市民団体から聖火台のレプリカ設置について要望があったことから、今後どのような形でできるかを考え、さらには著作権の許可も踏まえ、相談していく。

Q 新種目であるスケートボードのPR活動とオリンピック終了後の定着策について伺う。

A 石巻市民が多く集う川開き祭り、演技を披露しPRしている。オリンピック後、どのようにスケートボードやそのほかの種目を継続的に周知していくべきかが大きな課題であるため、今後何ができるのか研究をしていく。

環境教育委員会

証明書などコンビニ交付サービスの啓発について

Q 証明書などコンビニ交付サービスを把握していないコンビニ店員もいるようだが、啓発活動の内容について伺う。

A 本年4月以降、積極的な啓発活動をしていなかったことは反省している。本年11月にイオンモール石巻でコンビニ交付とマイナンバーカードの普及を兼ねた啓発活動を行う予定であり、改めてコンビニ店員への啓発活動も実施したいと考えている。



環境教育委員会

動物愛護の啓発について

Q ペットを家族の一員と考える飼い主も多いため、特に犬については動物愛護の一環として、予防接種の履歴がわかる手帳や犬の住民票を発行するべきではないか伺う。

A 発行に伴う法的な関係も確認しながら、発行する手帳への記載内容や犬の登録手続時に発行できるような体制を獣医師会および保健所などの関係機関と協議の上、検討したい。

Q 小学校校舎老朽化対策事業について

A 小中学校のトイレが全て洋式になる見通しについて伺う。

A 小中学校52校のトイレ洋式化率は、53パーセントであり、現在の学校数のままで老朽化対策工事に合わせた洋式化工事と別に洋式化の集中工事を合わせて行った場合でも10年強を要する見込みである。

Q 簡易な仕切りのままのトイレがある学校では子どもたちのプライバシーの問題もあるため、早急に対応するべきではないか伺う。

A 早急に取り組んでいきたい。

保健福祉委員会

災害時要援護者避難支援事業について

Q 避難支援体制づくりについて伺う。

A 登録した方の名簿を自治会や自主防災組織に渡して避難の行動につなげてもらうこととしているが、まだ支援体制は不十分であることから、今後、勉強会や総合防災訓練での名簿の活用を検討している。

(仮称) ささえあいセンター建設事業費について

Q ささえあいセンター整備事業の進捗について伺う。

A 事業の進捗は今年の8月末現在約50パーセントであり、来年の3月25日竣工の整備後の運営計画の策定については健康部と福祉部によるプロジェクトチームを立ち上げて協議している。

Q (仮称) ささえあいセンターを拠点とした地域包括ケアについて伺う。

A センターについては、地域包括ケアを推進する拠点として位置づけており、全体のコーディネートやフォローできる体制を目指して環境整備を進めている。

なお、各総合支所との連携について

は、センターは市全体の包括ケアを推進し、各総合支所エリアの人材育成や地域包括ケアを話し合う場として考えており、今後、各総合支所エリアではそのエリアごとの包括ケアを推進する体制を構築していく。

児童発達障害支援について

Q かもめ学園の老朽化に伴う施設の今後の方針について伺う。

A 現在整備を検討している児童発達障害支援センターは、かもめ学園の事業と重複するところもあるため、事業内容を精査し、関連付けながら整備していきたい。

また、センターの設置方法については、社会福祉法人が建設する場合、国の社会福祉施設整備費補助金の対象となることから、民設民営も選択肢として今後検討する。

乳児一般健康診査事業について

Q 乳児一般健康診査事業について100名もの子どもが受診していないが、どう把握しているか伺う。

A 本市として8カ月健診の受診率が90パーセントを下回ったことを憂慮しており、保健師の訪問や1歳児よちよち相談でも1歳半健診につなげるよう努め、不安の無い子育ての助けになるよう対応する。

平成30年度石巻市病院事業特別会計について

Q 石巻市新公立病院改革プランと目標値が乖離していることについて伺う。

A 一番の原因として外来患者数の乖離が大きいが、目標値に近づけるようさまざまな取り組みをしている。

なお、現プランは令和2年度が最終年度であることから、本市として病院経営の実態に即した数字を目標に置いて計画を立てていく。



産業建設委員会

平成30年度石巻市一般会計および各種特別会計認定について

Q ニホンジカ農作物被害防止対策について伺う。

A 猟友会石巻支部および河北支部に捕獲事業を委託し、各年間50日の猟を行っている。また、暗視カメラによる定点撮影調査などによる推計で、牡鹿半島内2710頭、北上川南岸2420頭、北上川北岸790頭であり、適正生息数に近づけるために調査や捕獲を続けていく。

Q サン・ファン・パウティスタパークの今後の運営方法について伺う。

A ミュージアムのリニューアルによる小・中学校の教育文化施設としての活用を促すことなど、ワーキンググループで関係機関と検討していく。

Q 北上観光物産交流センターの入館者の増加につながる年間行事の計画について伺う。

A 現在はホタテやカキの貝毒の影響でイベントを多く開催できないもの、貝毒が解消されればイベントを毎月開催できるよう、指定管理者である観光協会と協議していく。

Q 県営事業急傾斜地対策事業の整備状況について伺う。

A 石巻市内96カ所のうち86カ所が整備を完了しており、2カ所が整備中で、残りの箇所についても、引き続き県に要望していく。

Q 南浜津波復興祈念公園にできる池の水質の悪化を防ぐ方策について伺う。

A 大量の雨が降った場合には池の水を強制排水するが、基本的に池の水は動きが少ない状況である。試験的に池を掘って水質を確認したところ、1年目は藻が発生し一時的に水質が悪化した。次の年には水質を浄化させる植物の生育により水質悪化を防げることを確認できているため、循環ではなく植物の生育で水質悪化を防いでいく。

Q 雄勝中心部地区拠点エリアのイベントなどの計画や入れ込み数について伺う。

A 今年度末に観光物産交流施設および雄勝硯伝統産業会館が完成予定であり、現在も開催しているウニまつりや、震災前に実施していた例月の朝市などで雄勝の特産を活かしながら、集客を見込めるイベントを検討し、雄勝地区全体として年間10万人を見込んでいる。

Q 耐用年数を過ぎた市営住宅から復興住宅への移転計画について伺う。

A 現在計画を作成中であり、庁内で協議後、年内中には入居者に示していきたい。

Q 復興住宅の払い下げについて伺う。

A 木造の戸建てが対象となり、半島沿岸部と渡波地区の一部あるが、要望があれば対応する。

Q ポンプ場の完成時期について伺う。

A 折立地区の2つのポンプ場は整備が完了し、残りの9地区については、来年度末の完成を目指して仕事を進めている。



請願審査

総務企画委員会

「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」の提出方請願書

Q 過疎対策事業の成果について伺う。

A 平成28年度は、4地区で10件、事業費は3億1300万円、そのうち過疎債の充当が1億7200万円。平成29年度は、4地区で15件、事業費は5億7300万円、そのうち過疎債の充当が4億3200万円。平成30年度は、4地区で14件、事業費は5億1300万円、そのうち過疎債の充当が4億6700万円である。

Q 全国的な請願提出の状況について伺う。

A 全国過疎地域自立促進連盟が、令和3年3月以降について検討しており、予算関係でも政府予算、施策に関する要望を決定している。宮城県にも全国組織の宮城県支部があり、宮城県関係国会議員らに対して要望を実施している。

全国1718市町村のうち約47パーセントに当たる817市町村が過疎地域であり、過疎地域指定を受けることのメリットが十分あるため、全国的な活動になっている。

一般質問

議員24人が登壇 市政を問う!

第3回定例会の一般質問は、24人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただしたり、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画で見ることができます。(視聴にかかるデータ通信料などの費用は、ご本人の負担となります。)

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は、質問順序です。)	
①黒須 光男 1 暴かれる市長の仮面	⑭櫻田 誠子 1 環境について 2 近代捕鯨基地として栄えた石巻としての今後の在り方、方向性について 3 ふるさと納税について
②遠藤 宏昭 1 石巻市図書館の現状について 2 「リボンアート・フェスティバル2019」への本市の関わり方について	⑮青木 まりえ 1 石巻市内の道路状況について 2 石巻市内の環境美化について 3 石巻市内での子育てについて
③阿部 和芳 1 市長の政治姿勢「復興完結」について	⑯後藤 兼位 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について
④齋藤 澄子 1 子育て支援について 2 安心して復興公営住宅に住み続けるために 3 湊地区の諸課題について	⑰阿部 久一 1 国道道の整備促進について 2 公共バス運行の課題解決をどのように図るのか
⑤森山 行輝 1 稲井地区の諸課題について	⑱高橋 憲悦 1 活力ある石巻市に向けての諸課題について
⑥奥山 浩幸 1 「公共施設等総合管理計画」について 2 スポーツを活かした街づくりについて	⑲千葉 眞良 1 突然、高齢者が転び、動けなくなった時の対応について 2 ゴミ処理、し尿処理の施設更新について 3 市の公共施設の使用料の値上げについて 4 湊の諸課題について 5 人事課題について
⑦星 雅俊 1 前議会までの答弁の進捗状況について 2 生活困窮者自立支援事業の現状と今後の取組について 3 地域経済の活性化について	⑳西條 正昭 1 東日本大震災からの復旧・復興完結について 2 高齢者・障害者の足の確保について 3 人口減少防止対策について 4 SDGsについて 5 ホヤの消費拡大について
⑧佐藤 雄一 1 石巻市地酒での乾杯条例の制定について 2 ドローンを利用した防災・災害協定について 3 ネーミングライツについて 4 河南地区の諸課題について	㉑阿部 正敏 1 県道石巻鮎川線改良工事関連について 2 決算に伴う市立病院特別会計及び病院事業関連について
⑨鈴木 良広 1 公園整備について 2 投票率向上の取組について	㉒渡辺 拓朗 1 交通安全について 2 産業支援策について
⑩山口 荘一郎 1 時代の変化に合わせた教育環境の整備について	㉓青山 久栄 1 災害援護資金について 2 津波浸水区域在宅被災者の支援のあり方について 3 被災元地の利活用促進について 4 プラスティックごみへの対応について
⑪阿部 浩章 1 次期総合計画と評価について 2 水産振興策について 3 山下地区の諸課題について 4 沿岸・半島部の復興事業について	㉔楯石 光弘 1 「未病」と体力向上対策について 2 SDGs(持続可能な開発目標)と農業振興について 3 国指定「齋藤氏庭園」について
⑫千葉 正幸 1 放課後児童クラブについて 2 有害鳥獣について	
⑬水澤 富士江 1 介護「生活支援体制整備事業」～第2層協議体について～ 2 市立病院の今後について 3 女川原発再稼働中止と再生可能エネルギーの可能性について	



黒須 光男 議員



・暴かれる市長の仮面

問 新蛇田復興住宅建設で、疑惑の3億4千万円の増額を監査委員は十分に調査をしたのか。

答 畠山監査委員事務局長「要綱・要領どおりに事務執行がされていない。監査事務局で収集した資料の中では、詳細な増額の根拠を示した書類がない」

問 不正の増額3億4千万円は、平成30年3月8日に復興住宅課K主任技師の起案で「当初提案した譲渡契約の比較資料」が作成されたが、交渉記録もなく、契約支払いから3年も経過しており、こうした資料は、「つじつま」合わせのためだったのではないかと。

答 K主任技師に質すと、「協議もせず後付けであり、寝られない日々で監査委員および裁判での調べに対し、真実を語ります」と語っています。

問 畠山監査事務局長「関係者に聞き取り中でありませす」

問 市立病院は平成30年度会計で赤字となり、一般会計から17億円を繰入れたことが監査報告で明らかになりました。

答 このまま赤字が続くと市財政が破綻するので、民間委託も考えるべきではないのか。

問 安倍監査委員「繰出を減らすよう市当局に対して指摘する」

主張 市は仮設工事費271万円で井戸を掘ったと説明してきたが、「井戸は掘らずタンク車で仙台から水を運んだ」と議長に回答したことから、理論的にも工事施行上からも架空水増し工事であり、犯罪が成立したのです。いまこそ清潔で若い市長を誕生させて石巻を改革すべきではないのか。



遠藤 宏昭 議員



・石巻市図書館の現状について

問 図書館は、供用開始（開館）してから何年経過しているのか。また、年間の利用者数（直近3力年）はどれほどか。

答 昭和48年9月に供用開始。46年が経過している。利用者数は、平成28年度が15万7千人、29年度が15万3千人、30年度が15万4千人。

問 予想を超える利用者数である。市民のニーズ（需要）・欲求に添えており、生涯学習の拠点施設としての役割を果たしている。

答 図書館の全国的な方向性として、本の貸し出し中心の運営から、図書館という施設の中で長時間滞在し、利用し、くつろぐ、滞在型への運営に変化してきている。

問 令和2年度に宮城県から取得する方針の「石巻合同庁舎跡地（東中里）」への「石巻市図書館」の移転新築を検討すべきと提案するが、市長の見解は。

答 必要性は感じている。財政状況の見通しをしっかりと立て、方向性を出したい。

・リボンアート・フェスティバル(RAF)への本市の関わり方について

問 RAF実行委員会の一員（共催）として、本市はどのような形で関わっているのか。

答 補助金として5千万円を予定。また、作品展示会場などの市有財産の無償貸付けを行っている。

問 より多くの市民にRAFに足を運んでもらう、芸術に触れてもらいたい。PRの仕方に工夫の余地があるのでは。

答 周知方法を検討し、地域に根ざしたイベントにしたい。



阿部 和芳 議員



問 市長の政治姿勢「復興完結」についてラスト一年、令和2年度予算編成を踏まえ、どのように復興の完結を図っていくのか。

答 併せて財政構造も自主財源が低下し依存財源が増加し、石巻市立病院についても「新公立病院改革プラン」の目標値と乖離していると指摘されているが、持続的な財政運営は。

問 令和2年度の完結に向け、最大限努力し、経営健全化に努めて参りたい。

問 建設以後のランニングコストが掛かり過ぎる。指定管理や委託事業を実施する場合、職員適正化計画と併せて推し進めるべき、自治体RPA導入実施が必要ではないか。

答 自治体RPAは必要だと思っている。

問 スピードが求められる中、庁舎一階の商業施設は復興完結まで終わられるのか。

答 相手のある事、もう少し掛かる。

問 石巻を考える女性の会との懇談で、「高齢化」「子育て」がテーマとなり実態と乖離が有り、市立病院に産科や小児科が必要では。

答 産科は必要だと思っている。

意見 クラシックカー誘致や前回述べた井内四番五番の活用や金華山、ロッククライミング、黄金街道、プラスチックごみゼロ宣言など夢を世界に「輝く石巻」を発信すべきだ。



齋藤 澄子 議員



・子育て支援について

問 小中学校においてのいじめ対策は。

答 未然防止対策は各学校において、学校いじめ防止基本方針を策定、早期に認知し組織的に備えている。教育委員会ではストップいじめ子どもサミットの開催と11月を「いじめ防止月間」として定め啓発にも努めている。

問 学校給食での栄養充実、地場産物取入れを。

答 活用可能な地場産物を検討する。

問 会計年度任用職員制度によって放課後児童クラブ指導員の改善は。

答 報酬の他、期末手当、通勤に係る費用弁償が支給される。

・安心して復興住宅に住み続けるために

問 契約の親子継承継続を。

答 令和3年3月までの復興期間で被災して入居方に限り認める。期限到来後は親子間の入居承継認める必要を検討する。

問 復興住宅の今後の在り方は。

答 市長「本年3月から一般住宅困窮者の募集を行っている。また、認められている福祉施設などへの活用、高齢者、子育て世帯、障害者などの住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住宅セーフティネットの強化が重要と考える。

住宅供給公社への住宅管理委託は継続するが、鍵の管理は公社か、警備会社への委託などを検討したい」

・湊地区の道路、駐車場の進捗状況は

答 大門崎歩道橋を中心に内海橋までの道路は今年度の完成予定。市道状況については改善工事が必要と認識。復興交付金を活用した事業着手に向けた協議を進める。



森山 行輝 議員



問 稲井地区の諸課題について

答 (1) 国道398号線石巻バイパスについて
ア 完成年次について伺う。
イ 今後予想される通過車両増大に伴う対処法について伺う。

(2) 井内4番5番地内 棚橋地区の活用は。

(3) 稲井地区内の調整地域活用について、対処方の見直しが必要と思うがいかがか。

(4) 稲井地区の将来構想について見解は。

答 (1) 沢田工区約4・7キロメートルの着手は未定であり、これからの交通状況を見ながら検討との宮城県の回答が示された。通過車両の増大は認識しており、ご提言の中里南境線の早期整備に向けて対応してまいりたい。

(2) 商業エリアとして開発の申し入れがあれば協議の場を設けたい。

(3) これまでさまざまな要望があったことは認識している。今後は上申される案件について、相談者との協議を深めてまいりたい。

(4) 東日本大震災からの復興の過程において、人口が増加した地域であり、398号線石巻バイパス大瓜工区の開通や石巻市総合運動公園第3工区の供用開始などにより、周辺の生活環境が変化している。今後も地域の状況が大きく変わることが予想され、石巻専修大学立地の強みと、エリア内の機能を生かすとともに、文化芸術、スポーツ活動の中心とした将来展望を位置づけて、検討してまいりたい。



奥山 浩幸 議員



・陸上競技場早期建設の請願について

問 (1) 本年5月、陸上競技場早期建設の実現に関する請願が、関係団体から7631名の名簿を添えて市議会に提出され、全会一致で採択された案件。スピード感を持って進めるには、12月の補正予算に調査費を計上すべきではないか。見解を伺う。

答 (2) 事業手法について、近年の地方自治体で計画している陸上競技場などの施設整備では、民間の資金やノウハウなど民間活力をうまく活用した官民連携によるPPPやPFIの整備が進んでいる。建設コスト、維持管理など市単独の負担も軽減されることや事業のスピード化も促進されるのではないかと見解を伺う。

(3) これまで広域連携での事業化を提言してきた。広域行政では、「ふるさと基金」を設置し、県の補助金を含め合計11億円を積み立て運用している。ふるさと基金を活用することもひとつの方法だと考えるが、見解を伺う。

答 (1) 来年度当初予算に、陸上競技場建設に向けた調査費を計上したい。

(2) 市が直接実施するよりも効率的・効果的に公共サービスを提供することができる。今後検討していく。

(3) 東松島市、女川町の合意が必要であるが、まずは原案を固めて他自治体と相談したい。

提言 「ふるさと基金」は、組織市町の議会の議決を経て、規約の改正などを行えばハード事業にも活用できる。財源の一助となるのでは。



星 雅俊 議員



1 前回議会までの進捗状況について

①放課後児童クラブ

巡回指導員、主任制の試験導入について

巡回指導員は、今年度内の配置予定。主任制は、9月から3カ月間の試行中。

②高齢者の就労支援

公共事業の業務委託は、随意契約など実施済。放課後児童クラブ指導員の欠員などにシルバー人材センターの活用を検討する。

③地元受注機会の拡大

地元中小建設業者などの受注機会の拡大について

市の分離発注率は、対象工事の内9件で39パーセント、今後で50パーセントの見込み。(昨年同期30パーセント)

④山下地区の課題

「市田道町一・蛇田新橋線」の狭隘対策について

路肩部分のカラー表示は、今年度中施行。電柱移設は、土地の承諾を得た後に移設実施予定。

2 生活困窮者自立支援事業について

来年度から「就労準備支援事業」(82人)「家計改善支援事業」(54人)を民間委託で実施する予定との事だが、対象見込みが少ない。委託は、市内団体を取り込むべきでは。委託は、市内団体を検討する。

3 地域経済の活性化について

若者の働く場確保のため事業拡大意向のある既存事業者への支援策について

事業拡大の意向を有する市内事業者の支援は有効。企業誘致推進計画に基づき、取り組んでいるが若者の働く場の確保は、喫緊の課題であり対象業種なども含めて見直す。



佐藤 雄一 議員



・石巻市地酒で乾杯条例の制定について

地元の食文化・食文化をさらに盛り上げる目的で乾杯条例を提案したいと考えているが、市長の所見を伺う。

地酒・食材について市民の理解と関心が深まり、地場産品の積極的な消費を促すことで、地域経済の発展に寄与するものと思う。

・ドローンを使った防災・災害協定について

市ではドローンの利用についてどのように考えているか。

平成28年度にドローンを1台購入し、訓練を実施している。災害対応におけるドローンの利用について幅広く検証したい。協定については研究する。

・ネーミングライツについて

セイホクパーク石巻の他、どのような施設にどれくらいの契約料を目安として、募集しているのか伺う。

対象施設はスポーツ施設・文化施設などの公共施設。今後も積極的な導入を図りたい。契約料については、他の自治体を参考にしながら、その都度適切に決定したい。

・河南地区の諸課題について

佳景山駅前周辺の交通渋滞緩和について、2カ所ある駐輪場を駐車場に変更できないか。

設置者である県と協議を行っている。

駅前交差点の改良、道路拡幅も県に要望すべき。



鈴木 良広 議員



・公園整備について

健康遊具の設置やパークゴルフの練習場など、高齢者の方も幅広く利用できる公園整備が必要と思うが所見を伺う。

子どもだけではなく、高齢者が健康保持・健康増進のために利用できる公園づくりを地域の皆さんと意見交換しながら進めていきたい。

子育て世代の要望が高く、子どもたちが自由に安全に過ごせる屋内施設整備が必要と思うが所見を伺う。

市場調査や経営分析をしながら、整備手法については慎重に検討する。子育て施設は必要だと認識している。整備については計画的に進めていきたい。

・投票率向上の取り組みについて

移動投票所を行っている自治体もあるが、本市ではどのように考えているか。

人口減少にともない、投票所の統廃合も考える段階に入っている。移動投票所については、統廃合により不便にならないよう補完的な役割として考える必要があり、公選法の規定の中で運用方法について考える。

投票会場での宣誓書の記入が煩わしいとの声が多い。入場券の裏側に印刷している自治体もある。事前に記入できるような仕組みづくりを検討している。

本市では世帯ごとの入場券として郵送している。宣誓書を裏面に印刷するのは見づらいなどの問題もあるため考えにくい。宣誓書を書くのが苦手な方には会場の事務従事者に伝えていただければ対応する。



山口 莊一郎 議員



問 小中学校の学区再編の進め方は。

答 秋に学区再編計画を策定し、地区懇談会を進めていく。

問 学校統合時の教職員加配を。

答 県教委へ統合前年度と統合年度の加配を申請する。

問 統合時の部活動ユニフォーム更新への補助を検討すべき。

答 これまで補助は一切行っていないが、統合する世代への負担を考慮し、新たな課題とする。

問 多くの学校で部活動指導者不足という課題を抱える。現在山下中野球部で実施中のソフトバンク、石巻専修大との連携協定に基づく遠隔指導を拡大できないか。

答 今後の拡大は考えていない。

問 統合後に使わなくなる学校施設の跡地利用は。

答 まずは教育施設としての用途で検討し、地域の要望も聞いていく。

問 来年度から小学校でのプログラミング教育が本格実施されるが、学校ICT環境整備をどう進めるか。

答 タブレット台数を増やししながら、環境の充実に務めていく。

問 国に具体的なら5カ年計画があるのに、お金がないので石巻市は教育レベルを我慢させるといっている。子育て層の石巻離れがますます進む。学校での無線LAN100パーセント整備に向けて、既に学校に設置済の災害に強いWiFi(オレンジ)の活用はできないか。

答 オレンジの活用については、国庫補助事業であり、相当な協議が必要となるが、学校ICTの環境整備は、石巻市としてもしっかり取り組む。



阿部 浩章 議員



・次期総合計画と評価

問 次期総合計画は、亀山市長が任期中に復興終了後の石巻の羅針盤となる計画を策定することになるが、市民の思いを十分に反映した計画を作っていたらきたい。市長の所見を伺う。

答 市民の目線に立った計画をしっかりと打ち立て、議員ご指摘の一体的・シンプル化についても視野にいれて議会と一体となり作成する。

・水産振興策

問 水産業の充実と後継者対策を伺う。

答 水産業担い手センターを市内5カ所に整備し、現在18名が就業していることから、持続可能な水産業を構築するため、引き続き担い手対策事業に積極的に取り組んでいく。

問 昨年に引き続き貝毒による出荷規制されている、養殖ホタテの現状を伺う。

答 貝毒による出荷規制が長期化している状況となっていることから、引き続き状況を注視しながら緊急支援策を検討していく。

・山下地区の諸課題

問 JRR仙石線貞山地区幹線農業用水路の跨道橋下の道路拡幅を伺う。

答 仙石線期成同盟会の要望項目に入れて継続してJRに対して要望していく。

問 山下誇線歩道橋の改修計画を伺う。

答 本年度、階段部分などの危険箇所を応急修繕する。本格的な改修は次年度以降に実施する。

・沿岸・半島部の復興事業

問 小島・明神防潮堤整備事業について伺う。

答 明神は2期工事の入札を実施、小島は残工事の数量を確定し2期工事の発注を急ぎたい。



千葉 正幸 議員



・令和2年度からの放課後児童クラブについて

問 指導員の通勤に係る費用弁償(通勤手当)、期末手当は。

答 ①費用弁償は、指導員を含めパートタイム会計年度任用職員として、通勤距離が2キロメートル以上で、一週間当たり4日以上勤務する全てのパートタイム職員が対象。
②期末手当は、指導員を含め6か月以上の期間で任用され、6月1日、12月1日に在職する、一週間当たり15時間30分以上勤務する全てのパートタイム職員が対象。

・(市直営の)組織体制は。

問 所長(校長)、巡回指導員(教員有資格者)、主任支援員、支援員(認定資格研修修了者)、補助員となる。

問 開設時間の延長は。

答 ニーズ調査では3分の1が午後7時までを望んでいる。

問 利用負担を伴う延長保育や、指導員のシフト調整が困難な時はシルバー人材等の活用も検討する。

・有害鳥獣について

問 駆除の実態と解体処理施設での処理頭数は。

答 ニホンジカの駆除頭数は1225頭、県の個体数調整で334頭、合計で1559頭、その内2カ所の解体施設で192頭の処理。

問 1500頭を超えるシカの死骸の処理を、北海道枝幸町のエソシカ発酵減量法を導入できないか。

答 材料は、乳牛の糞尿と木材チップを混合した発酵床に死骸を投入し、切り返しの好気性発酵による減量法で、施設の設定経費も少ない。検討させていただく。



水澤富士江 議員



**一、介護「生活支援体制整備事業」
〜第2層協護体について〜**

問 今後、この事業をどのように展開していくのか。市民に理解を得るためにも、丁寧な説明を。他のシステムとの連携を。

答 第1層は市全体、第2層は中学校、第3層は町内会単位を指す。生活支援コーディネーター（CSC）を配置。高齢者に対する地域の支え合い体制づくりを行う。

二、市立病院の今後について

問 中心部に眼科がなく、診療を始めた際は喜ばれたが、時間が短い。眼科の拡充を。

答 今後診療時間の延長、来年度に白内障手術に対応していきたい。

三、女川原発再稼働中止と再生可能エネルギーの可能性について

問 新規制基準適合性審査が大詰めを迎えている。住民の安全、生命、財産を守るべき自治体、市長、議会の対応が迫られている。テロ対策施設の予算について、視察で行った玄海原発は2400億と説明された。女川はどうか。

答 東北電力が、答えられないと言っている。避難のための「交通量（渋滞）シミュレーション」はできているのか。

答 今年度中に完了予定。今後の課題である。



櫻田 誠子 議員



・環境について

問 10月施行の食品ロス削減推進法を受け、当市の今後の削減の取り組みは。

答 市内飲食店の協力をいただき「食べ残し3010運動の推進」と「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」の参加、食品ロス削減の市民意識啓発に努める。

問 本年5月に環境省から「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」が策定され、気仙沼市では具体策を示し方針が決定した。当市も早急に対応すべき。

答 海洋プラスチックごみは国際的にも懸念される問題と認識しており、当市も不法投棄やポイ捨て禁止のPRなど実施している。漁協、漁業者の協力をいただき、漁港にゴミ回収箱を設置し、回収に努める。

SDGsに併せ、市の特色ある取り組みとした。児童生徒への環境教育に今後も取り組む。

・近代捕鯨基地で栄えた鮎川の今後について

問 商業捕鯨が再開し捕鯨文化の継承が重要と思うがいかがか。

答 地域拠点エリアの整備が進み、来年春「牡鹿ホエールランド」がオープン予定。展示規模は縮小されるが、「鯨フォーラム」の開催誘致など、3万人の入場者数を目指す。鯨肉文化の継承のため、給食での提供や、好評の頒布は会場を増やし、多くの方に届けたい。捕鯨、観光と後継者の育成に努め、関係機関と連携していく。

・ふるさと納税について

問 今後の課題取り組みは。

答 魅力ある返礼品と電子感謝券を発行したい。



青木まりえ 議員



問 ①道路の凹凸、また②街路灯について。特に雨量が増えると冠水する所、また歩道に凹凸や段差のある所、砂利道などについて伺う。

答 ① 冠水箇所は、ポンプ設置で対処しているが、さらに、雨水処理施設を建設中で、改善の見込み。また、道路修繕の要望があれば、逐次、対処する。② 街路灯の設置基準は80メートル間隔と決まっているが、照度が低いなど、必要性があれば、80メートル以内でも設置可能。

問 ①道路周辺や公園などの雑草、ゴミについて、また②ゴミ集積所について伺う。

答 ① 道路の除草などは、建設業者4社に委託、また道路課職員も行っている。公園は約500を超えるが、そのうち255の公園を、「公園愛護会」へ助成金を出して、除草やトイレ清掃など行っている。② ゴミ集積所に設置する、カラスなどに荒らされない作りのゴミ置き（ボックス型・折り畳み型）の支援制度を来年度創設に向け検討中。

問 ①「放課後児童クラブ」の子どもたちに講師など派遣しては、また②高校就学時の学費や通学費など、伺う。

答 ①「放課後児童クラブ」と、生涯学習課による「放課後子ども教室」の連携を推進することで対処したい。

② 桜坂高校の場合、90パーセント以上の生徒が奨学金で学費が相殺されている状況。遠隔地からの通学者は数名いるが、特に要望など出ていない。



後藤 兼位
議員



・復旧・復興加速の課題と行財政運営について

問 土地区画整理事業の進捗状況について

答 新門脇、下釜第一、湊北、湊東地区はすべて完了。産業系の上釜南部、下釜南部、湊西地区は約80パーセント進捗している。

問 防災集団移転用地貸付料の納入方法をコンビニ収納も可能にすべきだ。

答 当初対象者が少ないため、費用対効果を考え導入しなかった。

主張 納入しやすい方法を考慮し市民サービスを図れ。

問 宅地貸付料はH27年度以降契約後10年間60坪まで減免だが、契約後11年以降減免措置が終了する80坪のケースだと年額25,200円が11年以降108,000円に激増し約4倍になる。激変緩和措置を図れ。

答 1363区画のうち1052区画が借地だ。将来大きな問題となるので研究課題だと考える。

問 借地契約した土地を購入する場合、現行の利子補給額の補助金だけでは購入は難しい、新たな補助金制度を作るべきだ。

答 区画の7割が借地だ、市有地を何年も貸すことが将来にわたってどのような影響が出るのか研究しなければならない。

問 復興公営住宅の共益費を家賃と一緒に徴収すべきだ。

答 適切な運用をするために、調査研究する。

・ごみ問題について

問 ごみの減量化・資源化を図るために市民が粗大ごみなどを気軽に持ち込めるリサイクルプラザの施設が必要だ。広域クリーンセンターの老朽化整備と併せて検討すべきだ。

答 最終処分場の延命化を図る上でも重要な施策だと考える。



阿部 久一
議員



問 横川地区の河川堤防道路いつから通れるのか。

答 完成は来年度末の予定である。

問 荒峠の急カーブ事故が多く発生拡幅整備すべきである。

答 当面の安全対策として、カーブミラーの設置や注意喚起の看板設置なども有効であると思うので、県に対して要望する。

問 尾ノ崎名振間の道路拡幅整備を県へ強く要望して頂きたい。

答 雄勝地域にとって重要な道路と考える。

問 拠点を活かすには拠点間のネットワークが必要である。道路が繋がって拠点エリアが生きる。これから積極的に要望していく。

問 住民バス土日・祝日の運行や日赤病院・イオン・駅前などへ、乗り継ぎなしの運行をして頂きたい。

答 路線バスと住民バスの重複運行はできないために乗り継ぎ運行を行っている。

問 土日・祝日の運行は、運行協議会で最も効果的に運行できるように協議して決めている。

問 雄勝中央団地から原・波板・名振方面へなぜ運行バスが出ないのか。

答 中心部拠点施設の整備完了時点で、乗り継ぎの拠点を中心拠点施設に移動する計画になっている。



高橋 憲
議員



・「活力ある石巻市の実現に向けて諸課題」

問 テレビアンテナ組合の支援策について。

答 電波行政は国の施策であり国に要望を行う。

提言 国への要望は、当然だが全国の自治体で、市独自で補助を行っているところもある。

問 地元負担している防犯灯などの電気料全額補助とLED化補助の見直しについて。

答 今後の実績を踏まえ検討したい。

提言 LED化は、多額の地元負担を要する。

問 厳しい財政事情。少子高齢化で年間約1700人の人口減少。市民一人あたりの市債(市の借金)相当額は、約54万円。この負担がますます増加することになる、震災復興の箱物事業はじめ、事務事業の選択と集中は。

答 真に必要な事業に財源を投入されるような予算編成と財政運営に取り組む。

問 市政に活力がないのは、市長をはじめ市政が「動かない」「動けない」「動く気がしない」の「3ない」が原因と思う。市長の「心に響く言動が、人を動かす」合わせて粋な計らいが市民から共感を受け、市政に活力が生まれ、「チーム石巻」「石巻愛」などと「誇れる街づくり」について、市長の考え方は。

答 市民と行政が同じ方向に向き、相互に協力しあいながら進めてまいりたい。

※詳しくは、YouTubeか議会HPへ掲載予定の会議録をご覧ください。



千葉 良真 議員



問 突然、高齢者が転び、動けなくなつた時、家族はどんな対応をすべきか伺います。

答 高齢者の転倒は、脳卒中など命に関わることや、骨折など大怪我につながることもあるため迅速な対応が重要です。

万が一、発生した場合には慌てて起こさず、痛みや意識、顔色などの観察や確認を行い、意識がない、痛みがあるなどの症状によって動けない場合には、速やかに119番通報し、早期に医療機関につなぎ、治療することが大切です。

問 介護での対応はどうなるか伺う。

答 本市では、要介護・要支援認定高齢者が、突発的な事情により自宅で過ごすことが一時的に困難となつた場合、短期間滞在できる「緊急短期入所生活介護事業」を行っております。また、介護保険事業計画に基づき、施設系サービスだけでなく24時間365日対応可能な居住系サービスの整備を維持し、その方の状態に合った支援の適正化に努めます。

問 湊の諸課題について。

答 湊区画整理地における住居の建設は進んでいるのか伺う。

答 湊東地区の計画数460画地は全て整備完了し8月末現在の建築戸数は124戸であり、湊北地区の計画数220画地も全て整備完了し、8月末現在の建築戸数は79戸となっております。また、産業系の湊西地区は121区画が整備中であり、8月末現在の立地件数は45社となっております。早期完了を目指してまいります。



西條 正昭 議員



一、東日本大震災からの復旧・復興完結について

問 現場を見る限り復興完結するのか大変危惧する。全ての事業が完結するのか伺う。

答 国、県との事業間調整や用地交渉の難航により遅れている。令和2年度まで完結させるよう取り組んでいく。

二、高齢者・障害者の足の確保について

問 今年4月にバス路線を改正した。石巻駅などへ行く場合は上品の郷・イオン石巻の2力所で乗り換えとなる。時間もかかる上、料金も高くなり河北・桃生・雄勝・北上地区の住民は死活問題である。早急に見直すべきだが伺う。

答 石巻市総合交通戦略後期計画の策定に向け、利便性の高い公共交通のあり方について研究していく。

三、人口減少防止対策について

問 震災後、石巻市の人口は激減している。対策について伺う。

答 原因を分析し、必要な事業を見直しながら施策を展開していく。

四、SDGs 未来都市 選定について

問 これまでに60団体が選定されている。国では3年間で90の自治体を選定し終了と聞くが、見込はあるのか伺う。

答 SDGsの達成に向け先駆的な取り組みを提案で来るよう準備していく。

五、ホヤの消費拡大について

問 震災後は風評被害により輸出が禁止となり、生産者は苦しんでいる。今後の消費販路拡大などについて伺う。

答 今後ホヤの消費販路拡大に向け、生産者および関係機関と連携を図っていく。



阿部 正敏 議員



・県道石巻鮎川線県道2号線について

問 大原浜中沢地区の季節風による越波について。

答 消波ブロックを再利用して1月に完了。

問 県道牡鹿女川線大原橋付近の海水冠水について。

答 県土木事務所に橋梁の嵩上げを要望している。

問 問題の多い県道については全て欠陥を改良した後市へ移管すべきでは。

答 橋梁の嵩上げなど実施した上で移管するよう協議している。

・決算に伴う市立病院の特別会計および病院事業について

問 病院の経営状況について。

答 外来入院患者など目標値に届かないものの増加し、収益についても目標値比88・2パーセントまで改善している。眼科・皮膚科・耳鼻科を新設し、外来患者が増え来年には白内障の手術ができるよう進め、収益を上げて行く。

問 欠損金の返済はどうなっているか。

答 毎年3・5億円程度償還して令和9年には償還が完了する。

問 一般会計から繰出金10億円を持ち出ししているか。

答 繰出金の半分は国からの地方交付税で残り半分は診療科を新設するための機器購入や改良工事費など不採算医療を埋めるための財源であるが、今後は医業収入で賄えるよう努力する。



渡辺 拓朗 議員



『松島基地への民間機乗り入れについて』

問 自衛隊と民間の共用飛行場は国内で10力所以上、さらに複数以上の飛行場を一都道府県に持つところは離島飛行場を省いても16力所ある。消滅可能性都市からの回避を図る上でも民間機乗り入れは企業誘致やインバウンド対策にも有効である。東松島市や女川町に6、7割の雇用創出しているマザーシティ石巻市として周辺市町と共に松島基地に民間機乗り入れの可能性と機運を探る時の到来と考えるがいかがか。

答 人口減少時代を乗り切るために大きな可能性を秘めた取り組みだ。企業誘致の大きなインセンティブと考える。まずは近隣自治体の首長と話し合う。

問 経済成長を遂げる東南アジアへの農水産物の輸出が伸びているが、この件に関しても民間機乗り入れの可能性が広がるのでは。

答 旅客格安便と同じように貨物の輸送にどのようにコスト削減を図り、成田空港まで空輸したらいいのか探ることが大事と考える。

『交通安全について』

問 交通安全はお茶の間からの視点で飲酒運転撲滅や交通安全をリアルタイムで市民に呼び掛けるために防災行政無線を活用すべき。

答 効果があると考ええる。内部でどのように活用したら良いのか検討する。



青山 久栄 議員



・被災者支援について

問 今次の大震災で世帯主が負傷したり、住居、家財に損害を受けた世帯の生活再建のために貸し込まれた災害援護資金の償還が6年の据え置き期間を経て29年度から始まっている。

しかし、もとより返済能力の乏しい世帯に貸し出されたものであり、13年後の返済期限まで完済される見通しは立っていない。

こうした事案については、市が県に立て替え払いすることになるが、被災者からは強引な取り立てもできず何十年にわたって回収業務に努めなければならぬ。償還額よりも業務コストのほうがどんどん膨らんでいけば、市の負担も増大する。どう対応するのか伺う。

答 被災者救済の立場に立って小額償還の相談に応じ、事務コストの増大については、あらゆる機会をとらえ国への要望活動を続ける。

問 津波浸水区域で、住居を未修繕のまま生活している世帯がまだ相当数ある。市独自の補助制度はあるが、修繕資金を先に用意しなければならず、制度利用に至っていない世帯もある。

一方復興基金は17億円余ると見込まれており、使わなければ国に返すことになる。住宅支援機構、社会福祉協議会などのリバースモーゲージを活用しての再建に対して、市の独自補助を組み合わせた方策を浸透させるべきではないか。

答 再度の意向確認を実施し、その際、説明を行い、できるだけ修繕につなげたい。



楯石 光弘 議員



最高の名医とは病気に向かっている状態の人を治せる人。

・「未病」と体力向上対策について

問 「未病」をいかに考え、メタボが全国トップクラスの中、基本にすべき本市の健康増進計画で肥満割合目標を前回より1パーセント緩くした理由について伺う。

答 「未病」は健康か病気に分けて考えるのではなく連続的に捉え、自覚症状がないまま重症化する生活習慣病に通じる。大学教授である計画推進アドバイザーの助言に従った。

問 子どもの肥満の現状と対策について

答 国、県平均を上回り、特に高度肥満割合が高く、食育や運動の習慣化をより徹底する。

問 肥満予防と体力向上のために、登下校の徒歩通学の徹底と復興マラソン、小学生の参加料の減額を。

答 望ましい事ではあるが現実的には難しい。

・SDGs（持続可能な開発目標）と農業振興について

問 国連で「家族農業の十年」が全会一致で可決された。その背景と目指すものについて。

答 戦後、農業の大規模化により貧富の拡大や環境汚染などの問題が発生。持続的な家族農業の果たしてきた役割が大きな事が再評価された。

・国指定「齋藤氏庭園」について

問 修復整備の進捗状況と歴史・文化的価値を改めて伺う。

答 来年度の倉庫等整備で終わる。近代の庭園でも丘陵地を一体の空間とし、東北三大地主と言われた齋藤家の激動の足跡を含めて極めて貴重な財産。

第3回定例会に提出された請願

■「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」の提出方請願書

(提出者) 河北地区行政委員会 会長 佐々木 清勝
雄勝地区行政委員会 会長 高橋 守次
北上地区行政委員会 会長 鈴木 学
牡鹿地区行政委員会 会長 大澤 俊雄
(紹介議員) 阿部 欽一郎、千葉 正幸、渡辺 拓朗、水澤 富士江

※この請願は、総務企画委員会で審査され、本会議で採択されたことにより、以下の意見書を提出することが、可決しました。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書（委員会提出議案第2号）

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施されてきた。

本市においては、河北地域、雄勝地域、北上地域、牡鹿地域の4地域が過疎地域として指定されており、地域のインフラ整備や施設の改修事業など、本市においてもさまざまな過疎地域対策事業が実施され、一定の成果が上げられてきたところである。

しかしながら、本市の過疎地域では、人口減少や高齢化の進展、農業・水産業における担い手不足や後継者不足、人口減少に伴う地域内消費の低迷など、非常にさまざまな課題を抱えている。

これまでも各種過疎対策を実施してきたが、依然として過疎化に歯止めがかからず、本市の過疎地域を取り巻く現状は、非常に厳しい状況となっている。

その一方で、本市の過疎地域は、豊かな自然や歴史、文化を有しており、豊かな自然環境を活かした豊富な水産物や農産物の生産など、非常に重要な役割を担っている。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は、令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的、公共的機能を今後も維持していくためには、今後も引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を拡充、強化し、住民の暮らしを支える政策を確立、推進することが重要である。

過疎地域に住み続ける住民が安心、安全に暮らしていくことが出来る地域づくりを、今後も積極的に行う必要があることから、次の事項について強く要望する。

記

- 1 継続的に過疎地域の振興が図られるよう、令和3年度以降における新たな過疎対策法を制定すること。
- 2 現行過疎法の期限終了後も、過疎地域において取り組む事業が円滑に実施できるよう過疎対策事業債および各種支援制度の維持を図ること。
- 3 過疎地域の振興が図られるよう、現行法第33条の規定による「市町村の廃置分合等があった場合の特例」を引き続き設けること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先) 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣

第3回定例会に提出された陳情

■石巻市内有床医療機関への原子力災害時広域避難計画調査の結果から東北電力女川原子力発電所再稼働の中止を求める陳情書

(提出者) 宮城県保険医協会 理事長 井上 博之

■女川原子力発電所UPZ圏内の保育所、幼稚園、学校等への安定ヨウ素剤備蓄を早急に行う事を求める陳情書

(提出者) 宮城県保険医協会 理事長 井上 博之

※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

第3回定例会 討論

9月25日の委員長報告後、第152号議案 令和元年度石巻市一般会計補正予算（第3号）について黒須光男議員が議案に賛成の立場から、討論を行いました。

討論内容は、6月定例会で反対した旧門脇小学校の震災遺構の予算を、9月定例会において当局が謝罪し、1億2,500万円を追加して予算を修正し、事業の全体予算がわかったことから、本議案に対して賛成したものです。

提案された議案は、簡易採決の結果、原案のとおり可決されました。

令和元年度 石巻市議会中央要望

令和元年度7月11日、12日に市議会では、下記のとおり中央要望を行ってきました。

◆要望先

復興庁、総務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、外務省、内閣府

◆出席者

[石巻市]

亀山 紘 市長

[石巻市議会]

木村忠良議長、高橋栄一副議長、遠藤宏昭総務企画委員長、高橋憲悦環境教育委員長、青山久栄保健福祉委員長、阿部正敏産業建設委員長、山口荘一郎総務企画副委員長、佐藤雄一環境教育副委員長、櫻田誠子保健福祉副委員長、楯石光弘産業建設副委員長



高階恵美子厚生労働省副大臣への要望

◆要望項目

- 1 復旧・復興事業予算の総額確保と実態に即した財政支援策などについて
- 2 防災集団移転促進事業により買取りした移転元地の交換による所有権移転登記の免税措置の延長などについて
- 3 地域コミュニティの再生に係る財政支援について
- 4 他自治体からの派遣職員の取り扱いについて
- 5 東日本大震災に係る心のケア事業、被災者健康支援事業の財政支援について
- 6 災害援護資金貸付制度の見直しについて
- 7 東日本大震災復興基金（津波被災住宅再建支援分）の弾力的運用について
- 8 重度障害者等医療費助成に伴う国庫負担金減額調整の廃止について
- 9 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う水産物の風評被害対策について
- 10 津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金のさらなる延長について
- 11 被災中小企業誘致・設備支援事業資金貸付制度の返済猶予に対する柔軟な対応について
- 12 復興特区制度の延長および地方税の課税免除などに伴う減収補填率の維持について
- 13 地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現について
- 14 災害公営住宅に対する家賃減免制度に係る財政支援について
- 15 教員の加配の継続について
- 16 学校施設環境改善交付金（文科省所管補助金）の採択について

「大漁踊り」に参加しました

8月1日の「石巻川開き祭り」の大漁踊りに、石巻市議会議員で参加し、皆さまとともに祭り気分を十分に楽しみました。



石巻市議会議員と 石巻を考える女性の会との懇談会

8月27日、「石巻を考える女性の会」（千葉陽子会長）の皆さんと『これからの石巻・希望ある未来へ向けて』をテーマに懇談会を開催し、女性の視点で、石巻市が抱えるさまざまな課題について意見交換を行いました。

◆主な意見

- ・敬老会会場が石巻専修大しかなく出席率も低い。
- ・一人暮らしの高齢者に補助が必要。
- ・独居高齢者や8050問題の引きこもりが問題だ。
- ・駅前に図書館があると利用しやすいのでは。
- ・子育て世代が出て行かない石巻にしてほしい。
- ・子育てにやさしい街を作らなければならない。

本会議・常任委員会を動画で配信しています。



視聴される際は、市議会ホームページの『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。

(YouTubeを視聴する環境が必要となります。)

また、本紙面から、各議員の顔写真の下にあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問を動画(録画映像)で見ることができます。

(視聴にかかるデータ通信料金などの費用は、ご本人の負担となります。)

次回12月定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5 開会 13:00	6 審議 10:00	7
8	9	10 総務企画 環境教育 10:00	11 保健福祉 産業建設 10:00	12	13	14
15	16 一般質問 10:00	17 一般質問 10:00	18 一般質問 10:00	19 一般質問 10:00	20 一般質問 10:00 審議・閉会	21
22	23	24	25	26	27	28

12月の定例会

12月の定例会では、条例の改正や補正予算などを審議する重要な会議となります。

議会は、市長と対等の立場に立って、仕事に対するチェックや、市民のための政策を提言して市政を正しく運営していきます。

ぜひ、議会の活動を見に来ませんか？

カレンダーの時刻は、開会時刻となっております。
※時間・日程は変更となる場合があります。

議会の動き

8月

19日 愛知県一宮市議会行政視察来石
21日 三重県桑名市議会行政視察来石
22日 静岡県浜松市議会行政視察来石
24日 福岡県北九州市議会行政視察来石
27日 石巻を考える女性の会との懇談会

13日 産業建設委員会書面審査

17日 議会運営委員会
広報広聴委員会

18日 本会議(一般質問)

19日 本会議(一般質問)

20日 本会議(一般質問)

24日 本会議(一般質問)

25日 本会議(一般質問、委員長報告
追加議案審議、閉会)

8日 兵庫県芦屋市議会行政視察来石

9日 山口県萩市議会行政視察来石

10日 群馬県桐生市議会行政視察来石

愛知県豊明市議会行政視察来石

16日 愛知県議会行政視察来石

25日 神奈川県藤沢市議会行政視察来石

29日 和歌山県海南市議会行政視察来石

石川県小松市議会行政視察来石

30日 鹿児島県薩摩川内市議会行政
視察来石

31日 三重県御浜町議会行政視察来石

北海道厚真町議会行政視察来石

9月

2日 議会運営委員会
5日 第3回定例会開会(~25日まで)
6日 本会議(条例案、予算案など審議)
9日 総務企画委員会現地視察
10日 環境教育委員会現地視察
総務企画委員会書面審査
11日 保健福祉委員会現地視察
環境教育委員会書面審査
12日 産業建設委員会現地視察
保健福祉委員会書面審査

10月

1日 静岡県清水町議会行政視察来石
2日 山形県河北町議会行政視察来石
福島県浪江町議会行政視察来石
長野県塩尻市議会行政視察来石
創生会会派視察(~4日)
3日 東京都墨田区議会行政視察来石
7日 愛知県豊橋市議会行政視察来石



行ってみっちゃ議会

(Welcome to 議会)

議場コンサート開催

11月24日(日曜日) 13:00~

市役所6階 議場
第1・第2委員会室

議場コンサート

マンドリン演奏

出演者 石巻好文館高等学校マンドリン部

- 曲目
- 1 宮城県石巻好文館高等学校校歌
 - 2 世界に一つだけの花
 - 3 宮崎駿アニメメドレー
 - 4 赤いスイートピー

議会報告会

(委員会活動内容の報告)

総務企画委員会：議会第1委員会室

環境教育委員会：議会第2委員会室

保健福祉委員会：議会第3委員会室

産業建設委員会：議会第4委員会室

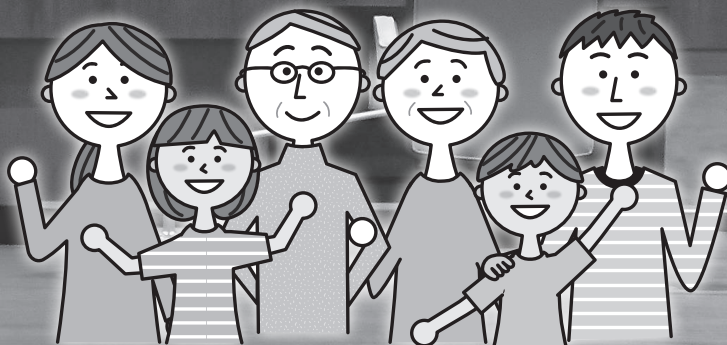
議会棟見学会

- ・議場・正副議長室・委員会室を自由に見学していただけます。
- ・写真撮影も可です。

めったに座る機会のない議長席でどうぞ!!

スケジュール

時間	内容
13:00~13:30	議場コンサート
13:40~14:40	議会報告会(委員会活動内容報告)
14:40~15:00	議会棟見学会



たくさんのご参加をお待ちしています

発行●石巻市議会

編集●広報広聴委員会

〒986-8501

宮城県石巻市穀町14番1号

TEL 0225-95-5080

印刷/株鈴木印刷所

環境に配慮した原料と古紙パルプ配合の再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ」類に分別してください。

広報広聴委員会 委員

水澤 富士江

台風19号被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げます。皆さまが一日も早く平穏な生活を送れるように、努力してまいります。

石巻市立病院のことが厚生労働省の発表で取り上げられました。地方の公立病院の存続にかかわることです。国には、現状をもっと知ってほしいと思います。同時に市民の皆さんにも御理解頂けるよう、努力をしていかなければなりません。市民に愛され、活用される病院であってほしいと、心から願います。

11月24日には、新しい形で議会報告会を開催いたします。ぜひ、おいでください。寒さに向う中、皆さまご自愛くださいませ。

編集後記

DATA 市総人口：143,047人【男：69,498人 / 女：73,549人 / 世帯数：61,578世帯】
(令和元年9月末現在)